

電気泳動関連試薬のご紹介

○高木信幸（関東化学（株） 技術・開発本部）

小林崇良（関東化学（株） 試薬事業本部）

関東化学（株）では、試料調製から電気泳動後の検出操作に至るまで、一連の電気泳動関連製品を取り揃えております。なかでも、他にはないユニークな性能を有するゲル染色試薬である、①総タンパク質検出用の「Rapid FluoroStain KANTO」、②核酸検出用の「ViewaBlue Stain KANTO」について、それぞれの特徴をご紹介します。

「Rapid FluoroStain KANTO」は、蛍光色素が SDS-PAGE ゲル中のタンパク質と結合し、レーザー等の励起光を照射することで、蛍光を発します。銀染色以上の高感度検出が可能でありながら、操作は洗浄-染色-脱色の 3 ステップ、所要時間は 1 時間であり、迅速・簡便です。また、染色したタンパク質の MS 分析や、ウエスタンブロッティングなどの免疫染色が可能であることから、一般的な電気泳動実験のみならず、プロテオーム解析分野にも適しています。

「ViewaBlue Stain KANTO」は、青色の色素がアガロースゲルまたはポリアクリルアミドゲル中の核酸と結合することで、可視光下での核酸の目視検出が可能となります。臭化エチジウムのような紫外線照射は不要なことから、DNA へのダメージが小さく、ゲルから DNA を切出す際の染色法として最適です。切出した DNA からは色素を除去できるので、PCR、シ

ケーンシンク、ライゲーションなどの基礎的な分子生物学的実験が可能であり、広い分野でご利用になれます。また、変異原性が低いことから、より安全性の高い実験が可能となりますので、学生実験などにも適しています。

本発表では、その他の関連試薬についてもご紹介いたします。